

令和5年度 第1回浜松市幼児教育推進協議会 会議録

1 開催日時・開催場所		令和5年5月19日(金)午後3時00分から午前4時30分 浜松市役所本庁北館1階102会議室			
2 委員 ・ 有識者	氏名(敬称略)	所属等	氏名(敬称略)	所属等	
	1 島田 桂吾	学識経験者 静岡大学大学院教育学研究科准教授	8 鈴木 朋子	市立保育所 寺島保育園園長	
	2 山田 佳敬	認定こども園 まつばこども園園長	9 河合 享子	市立小学校 中ノ町小学校校長	
	3 菅原 由美	私立幼稚園 平成幼稚園園長	10 佐々木 大樹	幼稚園保護者代表	
	4 竹内 映晴	私立保育所 まつのき保育園園長	11 吉積 慶太	こども家庭部長(委員長)	
	5 島田 さち子	地域型保育事業所 あいあい保育ルーム園長	12 奥家 章夫	学校教育部長(副委員長)	
	6 神尾 恵美子	認証保育所 エンゼル保育園園長	13 内山 圭子	学校教育部 指導課長	
	7 早河 圭介	市立幼稚園 赤佐幼稚園園長	欠席 根本 麻貴	保護者 保育園保護者代表	
3 主な意見・質問等					
1 幼児教育・保育の質の向上について					
(1) 幼児教育の指針の浸透と教職員用指導資料の活用促進について					
<ul style="list-style-type: none"> 指導資料は子供の発達の流れを確かめたい時、育てたい子供像や園目標を定める時に活用している。また、幼児教育や子供の育ちを語る時には「幼児期に育てたい力」の3つのワードを使いできるだけ分かりやすく伝えるようにしている。 活用促進については毎年の課題である。学生に配布すれば、身近に感じて参考になり意欲が増すのではないかと思う。就職にも繋がると思う。 学生への配布は、浜松の教育の魅力発信になる。現在、ホームページに掲載しているが、冊子がよいか公開の工夫を工夫する必要があると思う。 「はますくファイル」は、保護者への声掛けに利用し、懇談会等に使用している。保護者等との話し合いの中で関心を示す姿が見られるので、きっかけがあれば浸透していくと思う。 「幼児期に育てたい力」を共通の言語として扱い、共通の目指す姿に向かっていけるとよい。 					
(2) 研修の実施について					
<ul style="list-style-type: none"> 研修が増え、講師もよくオンライン形式であるため職員が参加しやすい。 ハイブリット形式も一案とし、参加しやすい方法を考えてほしい。 					
2 (仮称)浜松市版幼小接続期の教育・保育実践の参考資料の作成について					
<ul style="list-style-type: none"> 使いたい部分を取り出せるのはよい。生活科につながる上下の学年両方を意識して活用できる。 園での取り組みが小学校の育ちに繋がっていることが分かる。データ活用するには、各園のパソコン環境を整える必要がある。 資料は、指導していく側の理念や方向性についての情報という形になっている。作成した資料を、各園が実際の子供たちの活動やカリキュラムにどうアプローチしたかまでリサーチしないといけない。 切れ目のない接続ということでは、学校が、幼稚園・保育園・こども園と関わっていく意識をもつことができるように、教育委員会サイドで考えていきたい。生活科は学校の実際を掲載していくべきで、カリキュラム同士が結びついていることもあり、ワーキングの中で細かく詰めていきたい。 昨年度の調査で、小学校教員の指導資料の活用は8割、スタートカリキュラムの作成途中及び予定は7割であった。学校が幼稚園・保育園等と一緒に情報共有し研修していくことが必要だと考えている。 スタートカリキュラムは、指導要録に位置付けられている。生活科主任の研修や指導課による学校への計画訪問の折に、今回の話やスタートカリキュラムの重要性を確実に伝えていきたい。 資料は使ってもらわないと意味がない。見てもらえるような工夫が必要である。 園内の職員間の連携が取れておらず方向性が違うことに不安を感じることもある。この資料を基に方針等統一できるとよい。資料により、分かりやすくなる分、努力しないことにならないか、子供たちが選ぶ活動でなくなってしまうことはないか心配がある。 					
【まとめ】島田先生より					
<ul style="list-style-type: none"> オール浜松で意見交換するのはとても素晴らしいことである。この会の存在や話し合いの内容を他の人に伝えてほしい。 研修は参加型が望ましく、ITの整備を進めてほしい。 「はままつ教育」の最上目標に、はままつらしさが出ると思う。「自分らしさ」とあるが、文字にするとインパクトが弱いと感じる。学生はじめ全般的に、言葉を読み取る力や情景をイメージする力が弱いイメージが分かるような絵図が出てくると分かりやすい。参考資料のデータ配信はよい案である。 小学校は時間割があり、幼児教育について具体的に知らない教員が多いと思う。幼小の交流の場を増やし実際を知ってもらうことが大切である。 資料のメインターゲットを誰にするかで、内容や作成の仕方、カリキュラムマネジメントの必要性等、変わってくる。ターゲットを明確にするとよい。 					
4 今後 につ いて	(1) 開催日時及び場所について 令和5年9月12日(火)午前中 浜松市立赤佐幼稚園				
	(2) 内容 <ul style="list-style-type: none"> 保育参観 参考資料検討案の提案及び協議 				